

ポケモンマンホールが本町に

11月30日、世界的な人気ゲーム『ポケットモンスター』のキャラクターがデザインされたマンホール『ポケふた』が、道の駅もんじゅに設置されました。

これは、各地域の魅力を国内外に発信するとともに、地域とポケモンのファン増を目指す『ポケモンローカルActs』という活動の一環で、北海道と（株）ポケモンが包括連携協定を締結したことから、マンホールの設置を希望した本町を含む15市町村にそれぞれのイメージキャラクターが割り振られ、マンホールが設置されました。

本町のマンホールには、北海道自体のキャラクターである、火を吐くきつねポケモンの「ロコン」とともに、「エゾ地の火まつり」にちなんで、同じくほのおタイプのポケモン「ヒコザル」がデザインされ、本町のイメージアップに役買っています。



滝沢小学校で地域ぐるみの催し

12月2日、地域住民に学校行事への協力に感謝の思いを伝えようと「滝つ子感謝祭」が滝沢小学校で行われ、約30名ほどの地域住民と児童・教員らが参加しました。

このイベントは、近年、学校の児童数減少により、運動会や学習発表会を地域の協力を得て開催していることから、そのお礼として地域住民を招いて昨年からおもてなし」として自ら考えたゲームや手作りのお菓子などで来場者をもてなしました。

訪れた地域の方々には心がこもったおもてなしに笑顔が浮かべ、催しの中で行われた「餅つき集会」では、児童と地域の人が一緒に餅をつき、できあがった餅はお雑煮やきなこ餅などにして、全員で頬張っていました。



花壇に土入れ

慈善事業に3町内会から感謝状

12月6日、大留、中央区、上ノ国地区の国道沿い花壇に土入れなどの慈善活動を行った（株）小林建設（字大留）に、3町内会から感謝状が贈られました。

毎年3町内会では、国道沿いの花壇整備を行っていますが、年々減少していた土の補充は多大な労力と経費を要することから、改善が課題となっていました。

このことについて、関係町内会の会長が大留地区に本社を置く（株）小林建設に相談したところ、同社から無償での土入れを提案され、事業がスタートしたと聞かれました。

これに対して、地域からの感謝と喜びの声が寄せられていることと、各町内会長から伝えられること、同社の小林誠社長は「今後も出来ることは継続して協力していきたい」と話していました。



歌と踊りを楽しむ

12月6日、上ノ国町老人クラブ連合会（三浦安則会長）主催による、高齢者いきいき芸能発表会がジョイビュウらに開催され、約200人が訪れました。

高齢者の交流と親睦を目的に毎年行われているこの発表会ですが、今年は各地区の老人クラブから約50人が出演しました。

舞台上では、司会の杉田京子（宇石崎）さんの絶妙なトークにより、演者にも一層力が入り、その類まれな歌や踊りに来場者から大きな拍手が送られ、また、アトラクションとして、上ノ国保育所の園児が出演し、可愛らしい踊りが披露されると、会場全体から拍手が送られ、和やかなひとときを過ごしていました。

